



りんご生育情報（9月）

令和元年9月 亘理農業改良普及センター（果樹担当 横田）

電話：0223-34-1141, ファックス：0223-34-1143

<生育状況>

表1 りんご生育状況（9月10日果実肥大調査）

	縦径(mm)	横径(mm)
本年	75.9	85.8
平年	73.3	80.1
平年比	103.5%	107.2%

※ 調査地点：亘理町神宮寺 ふじ/マルバカイドウ 58年生

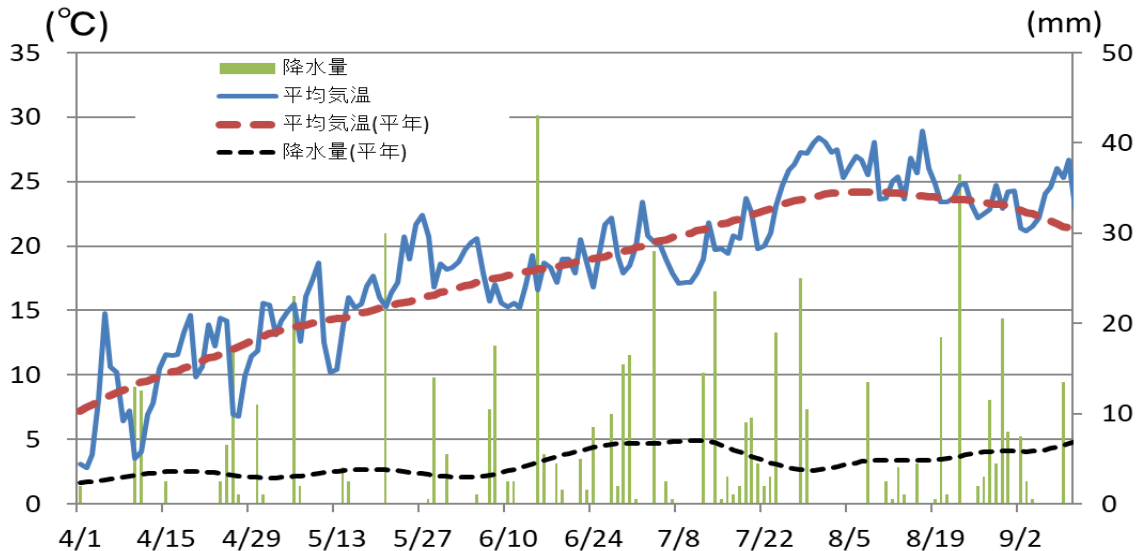


図1 気象データ(亘理アメダス, H31.4.1～R1.9.10)

<病害虫発生状況>

1. 病害虫防除所が発表した病害虫発生予察情報から抜粋

8月29日発行（9月末までの発生予報）

斑点落葉病：発生量は多

<これからの栽培管理>

1. 病害虫防除

(1) 斑点落葉病

斑点落葉病は、気温が低下する秋季前半まで発生拡大が懸念されるので、今後も発生量に注意してください。

(2) 果実腐敗病について

輪紋病：既に感染時期は終了しており、発病果実からの二次感染はほとんどありません。潜伏期間が長いいため発病はこれからとなりますが、発病した果実に薬剤散布しても効果はありません。特に今年は、梅雨時期の長雨で果実感染が進んだと思われます。

炭そ病：発病果実から二次感染しますので、今後の薬剤防除でも被害低減はある程度期待できます。ただ、炭そ病菌は比較的高温を好むので、冷涼になる時期の薬剤散布は大きな期待はできません。

(3) キンモンホソガ

園地によっては、**9月中旬以降にも発生**が見られます。落葉前であれば、効果が期待できる**バリアード顆粒水和剤、モスピラン顆粒水溶剤**などの殺虫剤を散布してください。

被害葉の落葉が進んでいる場合、殺虫剤を散布しても効果はありません。その場合は、越冬虫対策として落葉を集めて処分してください。

2. 果実の着色管理

果実の着色には、光、温度、糖度の条件が揃うことが必要です。

着色管理の詳細は次号で触れますが、今月は、枝の欠損防止と併せて、再度、**支柱立てや枝吊り**を実施してください。これらの対策によって、台風等からの枝の欠損軽減のほか、**樹冠内の光環境が改善**され、**果実の着色促進**に繋がります。

<管内トピックス>

亘理名取果樹振興協議会では、各生産者の技術支援や会員相互の交流を図ることを目的として「りんご栽培研修会」を令和元年8月29日に開催し、関係機関を含め37名の参加がありました。

研修会では、2カ所の視察を行い、まず、山元町 森俊一氏りんご園では視察を行い、経営概要の紹介や生育状況についての情報交換を行いました。当地域では、開花期間に強風や降雨がありましたが、結実・生育は概ね良好で、りんごの肥大も順調に進んでいます。

その後、宮城県農業・園芸総合研究所へ移動し、果樹チームの大沼リーダーに主要りんご品種の生育状況や新品種の特徴、研究所で取り組んでいる研究内容を紹介していただきました。参加者から、新品種の特性についての質問が多くあり、今後の栽培品種選定の参考としていました。

当協議会では、今後も各生産者の技術支援・会員相互の交流を図る研修会開催し、当地域の高品質なりんごの安定生産を支援していきます。



森俊一氏りんご園(山元町)の様子